雄志・八千浦中学校区 同和教育だより

<雄志中・八千浦中・諏訪小・戸野目小・上雲寺小・高士小・八千浦小 共同発行> [平成29年2~3月 No.9(最終号)]

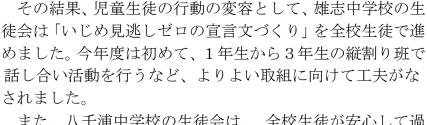
成果(子どもたちの姿)を発表しました



2月23日(木)に、教育プラザで同和教育研修会が行われ、 120名余の教職員や同和教育、人権教育に熱心に取り組んでいる方たちが参加しました。私たちは、2年間の研究指定の間に、児童生徒、保護者、地域の皆さんとともに取り組んだことや、その成果を発表してまいりました。



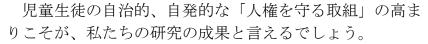
私たちは「自分や他者の人権を守るために行動できる児童 生徒の育成」を研究主題に据え、「児童生徒の行動の変容こ そを最大の評価項目とする」という思いで、保護者や地域の 皆様と力を合わせ、ともに学びながら、2年間取り組んでき ました。





また、八千浦中学校の生徒会は、 全校生徒が安心して過ごせる学校をつくろうと「陰ロストップ運動」を行いました。

これら質の高い自治的な取組は、各中学校区で開催される「いじめ見逃しゼロスクール集会」を通じて小学生にも紹介され、小学校児童会においても自治的取組が推進されてきています。





私たち教職員も、児童生徒が不当な差別やいじめに苦しむことのないよう、またそれを見逃すことがないよう、真摯に取り組んでいこうと、決意を新たにしています。

研究のバトンは、他の中学校区に引き継がれますが、来年度以降も、各校、各中学校区で、同和教育を中核とした 人権教育に誠実に取り組んでまいります。 ふるさと(父のねがい)

丸岡 忠雄

"ふるさとをかくす"ことを 父は けもののような鋭さで覚えた

ふるさとをあばかれ 縊死した友がいた ふるさとを告白し 許婚者(いいなづけ)に去られた友がいた

吾子よ おまえには 胸張ってふるさとを名のらせたい 瞳をあげ何のためらいもなく "これが私のふるさとです』と 名のらせたい

生まれ育った場所を理由に「いわれのない差別を受ける」、「結婚を反対される」、「就職ができない」。 これが部落差別問題(同和問題)です。「そっとしておけばなくなる」とおっしゃる方もおられます。本 当にそうなのでしょうか。



私がまだ30代前半であったある年。担任学級で、結婚差別問題についての授業をしました。

「ある男性が、被差別部落出身であることを理由に、相手の女性の親に結婚を反対される」という、実際にあったお話を紹介すると、生徒は一様に「いわれのない差別だ。許してはいけない。」と感想を述べました。その時間の最後に「ではもし、あなたが、相手の女性の親だったらどうするか。」と問い、一人一人に書いてもらいました。授業を終えた後で目を通し、衝撃を受けました。学級の約3分の1の生徒が、こういう趣旨のことを書いていたのです。

― 「もし自分が女性の親だったら、結婚に反対するかもしれない。だって、自分のかわいい娘が、『いわれのない差別』を夫と一緒に受けながら生きていくことになるのは辛い。もし子どもが生まれたら、その子、つまり私の孫も…と考えると、賛成できないかもしれない。」と ──。

深く考えさせられました。生徒を責める気持ちは、湧きませんでした。「 ― 私たちはふだん、『差別はいけないことだ』という知的な理解で、自分の心にある『差別意識』を心の奥底に押し込んで暮らしている。しかしひとたび、自分や家族の問題として直面した時、『差別意識』があらわになる ― 。」以前に聞いていた言葉を、強く実感しました。と同時に、「差別」を自分の外側に置いていた自分を、深く恥じました。「生徒たちは、自らを見つめ、心の奥にあるものを私に伝えてくれた。では、私はどうであったか。自分の中にある差別意識を見つめずして、子どもたちに人権を問うことはできない」と。



同和問題は、わが国固有の人権問題です。2016年12月に「部落差別の解消に関する法律」が参議院で可決され、成立しました。その第一条には「現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じている」と書かれています。

「部落差別は、そっとしておけばなくなる。」 — 本当にそうでしょうか。

大地震の被災地から避難してきた子どもへのいじめ。これも、「生まれ育った場所を理由にした、いわれのない差別」です。私たちは、真実を学び続けなければなりません。学ばないと見えてこない真実が、確実にあります。

差別の「真実」を学び、思いを共有し、知恵を出し合い、力を合わせて、いわれのない差別に苦しむ人を支え、守り、助けていくこと。このことこそが、これからの「共生の時代」を生きる私たち、そして子どもたちに求められる資質であると考えています。 <文責:事務局 五+嵐守男(諏訪小学校)>